

情報公開文書

西暦 2025年 8月 18日作成

項目		
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	誤嚥性肺炎患者における抗コリン薬リスクスケールと非経口摂取期間、食事摂取の関連性調査
	研究対象者	2024年6月～2025年6月に、当院へ誤嚥性肺炎で入院された方であり持参薬がある方。
	研究目的	誤嚥性肺炎による経口摂取開始の遅延は、嚥下関連筋の痙攣性萎縮がおこり低栄養リスクを高めます。抗コリン作用薬には味覚異常や口腔乾燥、嚥下機能低下等の有害事象があり誤嚥性肺炎の発症に関与していることが知られています。これらのリスクを評価し薬物療法の適正化を目的として、日本老年薬学会より日本版抗コリン薬リスクスケール(以下、JARS)が開発されました。JARS関連薬と誤嚥性肺炎発症後の非経口摂取期間、食事摂取との関連性の報告は少ないため、JARS評価の臨床栄養治療への有用性を目的としました。
	研究方法	電子カルテから診療情報を抽出し、後ろ向きに調査します
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号(識別コード)で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	2025年8月18日～2026年8月18日
利用する試料・情報の項目(チェック[X]のある項目を利用します)	[]情報:	[X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X]年齢、[]生年月日、[X]性別、[X]既往歴、[X]併存疾患、[]外来日・入院日・退院日、[]臨床検査値、[]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[]臨床所見・経過(予後追跡データを含む)、[]ゲノムデータ、[]看護記録、[X]その他(処方薬、中止薬、持参薬、食事摂取状況・内容)
試料・情報を利用する者の範囲	当院研究責任者	薬剤部・南 朱音
	共同研究者	薬剤部・平間 盛吾、木原 星衣、高山 直也、鹿島 弥生 入退院支援センター・飯田 純一
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口		済生会横浜市南部病院 薬剤部 南 朱音 連絡先 045-832-1111 利用停止のお申し出は研究終了日までにお願いします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります